

電子申告システム (Ver.H23.10) 概要

「電子申告システム Ver.H23.10」での主な対応内容についてご案内致します。

1 発行プログラムについて

インターKX電子申告			
6月20日 e-Tax 受付開始分	InterKX 電子申告	H23.10	
各アプリケーション(電子申告プログラム)の更新用プログラム (連動アプリケーション)			
6月20日 e-Tax 受付開始分	InterKX 法人税	H23.10.e1	更新の対象：H23.10

e-Tax 受付開始日が6月下旬(6/20~開始)のため、6月申告の準備ができるように電子申告のプログラムを6月17日の13:00~マイページよりダウンロードができるようになりました。必ず、プロダクトIDやライセンスキーもマイページでご確認ください。

(ご注意) e-Taxの受付開始は6/20のため、送信は6/20以降に行ってください。

22年度版も、H22.23と法人税H22.2.e8が6/17~ダウンロードできますが、6/20~e-Tax受付開始となります。22年度版で電子申告する場合もご注意ください。

ダウンロードマネージャーからのダウンロード公開については、e-Tax受付開始日と同じ6月20日公開です。

2 平成23年度法人税申告対応

法人税平成23年度版の電子申告に対応しました。

今年は、法人税システム平成23年度で作成できるすべての別表等の申告が可能です。

適用額明細書の対応について

平成23年4月1日以後終了事業年度の法人が提出することとなった「適用額明細書」も電子申告の対象となります。この「適用額明細書」についてはプレビューの対応、申告済印イメージ印刷に対応しました。

震災特例法対応について

法人税システムH23.10で対応した「(申請・届出)震災損失の繰戻しによる還付請求書/繰戻対象震災損失金額に関する明細書」の取り込みに対応しました。「震災損失の繰戻しによる還付請求書」についてはプレビューの対応、申告済印イメージ印刷にも対応いたしました。

法人税システム対応帳票	法人税エクセル提供帳票(Web公開)
震災損失の繰戻しによる還付請求書	震災により生じた損失の額に関する明細書
繰戻対象震災損失金額に関する明細書	災害損失特別勘定の損金算入に関する明細書

電子申告システムに「申請・届出」として取込、電子申告できます。

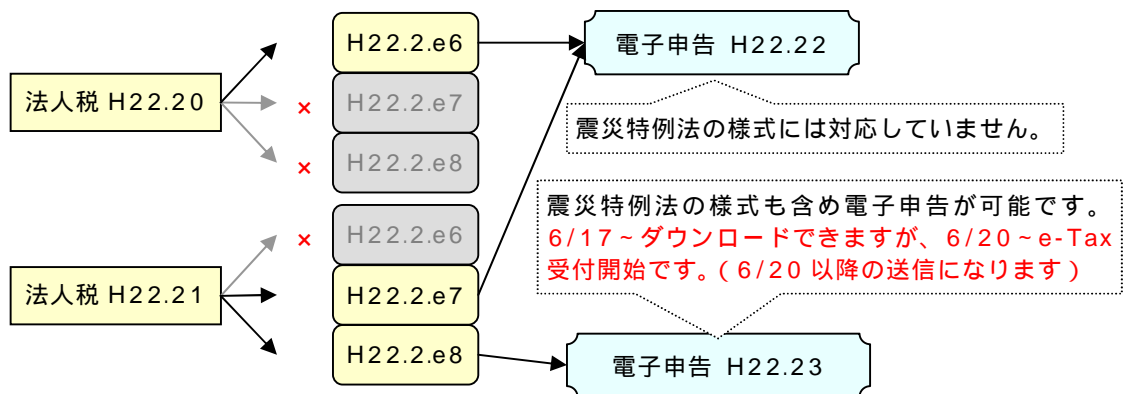
国税(e-Tax)では添付ファイルを送信することができないため、法人税申告書の「送付書」にし、別途郵送等によりご対応ください。

震災特例法への対応は、H22年度版(H22.23)も対応しています。必要に応じてバージョンアップをしてください。(マイページの「修正申告用」からダウンロードすることができます)

【平成22年度修正申告用】

インターKX電子申告			
6月20日 e-Tax 受付開始分	InterKX 電子申告	H22.23	更新の対象：H22.20以降
Ver.H22.20からのバージョンアップの場合は、ライセンスキーは必要ありません。			
各アプリケーション(電子申告プログラム)の更新用プログラム (連動アプリケーション)			
6月20日 e-Tax 受付開始分	InterKX 法人税	H22.2.e8	更新の対象：H22.21

法人税システムと電子申告システムの組み合わせ（平成 22 年度版）



3 申告済印イメージ印刷 対応帳票の追加

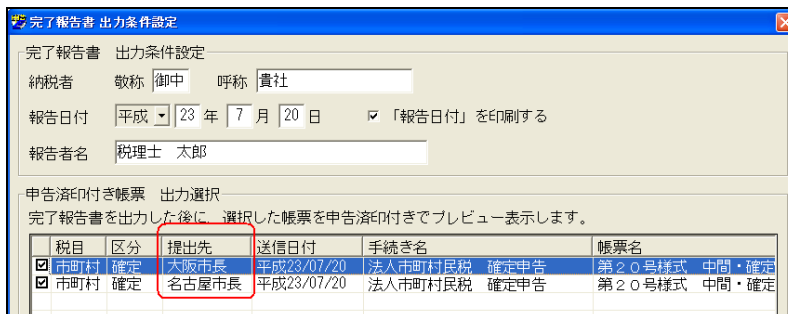
申告済のスタンプイメージ対応帳票に以下の帳票を追加しました。

- ・第六号様式（法人二税）
- ・第二十号様式（法人市町村民税）
- ・所得税徴収高計算書（源泉所得税）
- ・適用額明細書（法人税）
- ・震災損失の繰戻しによる還付請求書（法人税 届出書）



完了報告書 出力条件設定画面の変更（提出先表示の追加）

地方税様式申告済印イメージ印刷対応に伴い、申告済印付帳票の出力選択の一覧に「提出先」の表示を行うようにしました。



4 申告データ一覧画面 提出先欄(地方税申告用)の初期表示幅拡張

申告データ一覧画面について、提出先欄の初期表示幅を拡張しました。（5文字 6～7文字）

税目	年度	区分	提出先	税理...
法人税	H24	確定		
法人二	H23	確定	神奈川県	
市町村	H23	確定	神奈川県横浜市	
市町村	H23	確定	神奈川県川崎市	

5 消費税届出書 簡易課税制度選択届出書の様式変更対応

「消費税簡易課税制度選択届出書」の新様式に対応しました。

6 「データ取込作成」画面の変更

固定資産税ボタン(法人/個人)と所得税ボタン(個人)を使用不可のボタンに変更しました。
また、法定調書等の画面では、「配当の支払調書」のみを取込可能とします。

法人税申告データ取込画面の変更

今回の「震災損失の繰戻しによる還付請求書」の取込対応に伴い、従来の『「欠損金の繰戻しによる還付請求」手続きを同時に取り込む』のチェックボックスを還付請求全体（「欠損金の繰戻し還付請求」と「震災損失の繰戻し還付請求」の両方）を制御するチェックボックスに変更しました。（一括取り込みタブ/法人税タブ）
また、初期値を ON（従来は OFF）に変更し、法人税システム側でこれらの還付請求書が作成されていれば、取り込みを行うように変更しました。

7 法人税（中間申告・予定申告）送付書自動作成機能の改善

法人税（中間申告・予定申告）において、自動的に送付書を作成している機能について改善を行いました。
法人税予定申告のとき 不要な送付書を自動作成していましたが、作成しないように変更しました。
法人税中間申告のとき 別表十八を送付書の添付書類名一覧に転記を行わないように変更しました。

8 地方税（eLTAX）プレ申告データのメッセージ受信

地方税の「プレ申告データ」のメッセージを受信できるようにしました。
「結果確認」 <メッセージ> から、納税者本人でログインすることにより受信することができます。
プレ申告データの内容確認には対応していません。内容の確認は、PCdesk をお使いください。

9 地方税マスターの更新（電子申告対応市町村の追加）

地方税電子申告対応団体が追加されました（2011/5/6 付）ので、最新の地方税マスターに入れ替えました。
参考） <http://www.eltax.jp/download/downloadfile20110406000001.html/>

地方税マスター更新ツールの対応（既に公開済）

19年以降の一括更新は「地方税マスター更新ツール」をお使いください。

地方税マスター更新ツール URL） <http://www.tabisland.ne.jp/support/Download.nsf/DLList3/D0229>

10 ヘルプ記載内容、電子マニュアルメニューの変更

ヘルプに記載する内容と、電子マニュアルメニューのデザインを変更しました。

11 国税(e-Tax) 使用可能文字の拡張 【電子申告 H23.10 / 法人税 H23.1.e1】

2011年1月より、国税(e-Tax)で使用可能となる文字が拡張され、以下の文字についてはそのまま電子申告できるようにしました。(法人税以外のシステムは今後のバージョンアップのタイミングで順次対応)

対象文字一覧(2011年1月より使用可能となった文字)

穧、聊、疋、聊、mm、cm、km、mg、kg、m²、ミリ、キロ、センチ、メートル、グラム、トン、アル、ヘル、リットル、ワット、キロ、ドル、セント、パーセント、cc、KK

12 動作環境等について

使用できる Windows のバージョンは以下のとおりです。

InterKX 本体

OS		データベース セットアップ	クライアントセットアップ	
			国税申告	地方税申告
スタンド アローンモデル	Windows® 2000 Professional			x
	Windows® XP			
	Windows Vista®			
	Windows® 7			
ネットワーク モデル	Windows® 2000 Server		x	
	Windows Server® 2003			
	Windows Server® 2008			
	Standard			

クライアント PC

OS	データベースセットアップ (モバイル基本パック使用時)	クライアントセットアップ	
		国税申告	地方税申告
Windows® 2000 Professional			x
Windows® XP (32ビット版)			
Windows Vista® (32ビット版)			
Windows® 7 (32ビット版)			
Windows® 7 (64ビット版) (2)			

1 地方税申告について

地方税申告を行う場合は、クライアント PC に以下の環境が必要です。(以下の環境以外は動作保証外)
地方税申告を行う場合には、サービスパックの有無や Internet Explorer のバージョンなどもご確認ください。

- ・ Windows XP (SP3) 32bit、Windows Vista (SP2) 32bit、Windows 7 32bit
- ・ Internet Explorer 7、Internet Explorer 8

2 64ビット OS について

1 台でも 64 ビット版 OS のコンピューターを使用する場合は、ネットワーク基本パック Ver.4.0 以降を使用する必要があります。